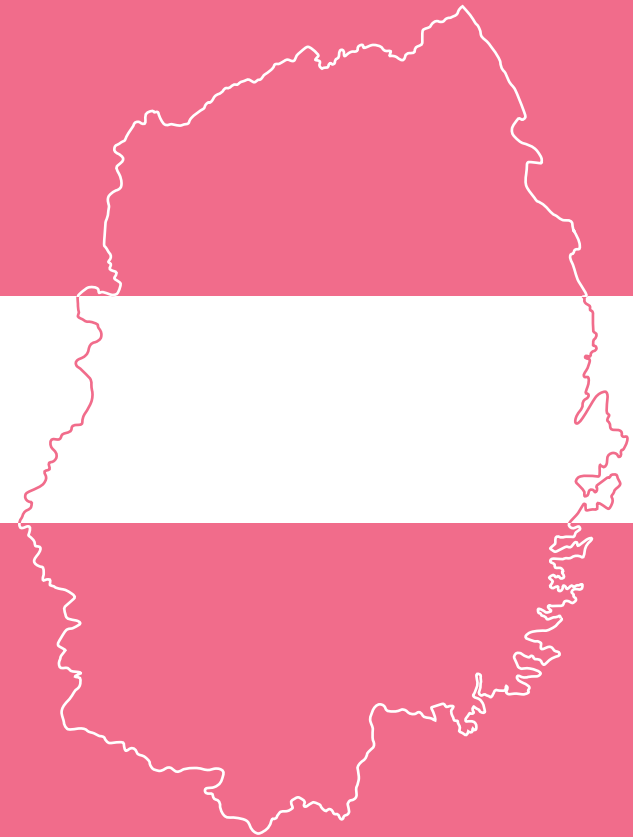


第4部

県民意識調査 結果の概要



令和3年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすること。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和3年1～2月（毎年調査）
- (6) 調査項目
 ア 生活全般の満足度
 イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 ウ 県民の普段の行動について
 エ 幸福度について
- (7) 回収者数 3,549人
- (8) 有効回収率 71.0%
- (9) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,561	(44.0)
女性	1,949	(54.9)
その他	6	(0.2)
不明	33	(0.9)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	53	(1.5)
20～29歳	200	(5.6)
30～39歳	320	(9.0)
40～49歳	499	(14.1)
50～59歳	604	(17.0)
60～69歳	766	(21.6)
70歳以上	1,009	(28.4)
不明	98	(2.8)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,011	(28.5)
県南広域振興圏	1,080	(30.4)
沿岸広域振興圏	833	(23.5)
県北広域振興圏	625	(17.6)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	282	(7.9)
家族従業者	119	(3.4)
会社役員・団体役員	240	(6.8)
常用雇用者	1,025	(28.9)
臨時雇用者	440	(12.4)
学生	68	(1.9)
専業主婦（主夫）	403	(11.4)
無職	775	(21.8)
その他	51	(1.4)
不明	146	(4.1)

() 内は%

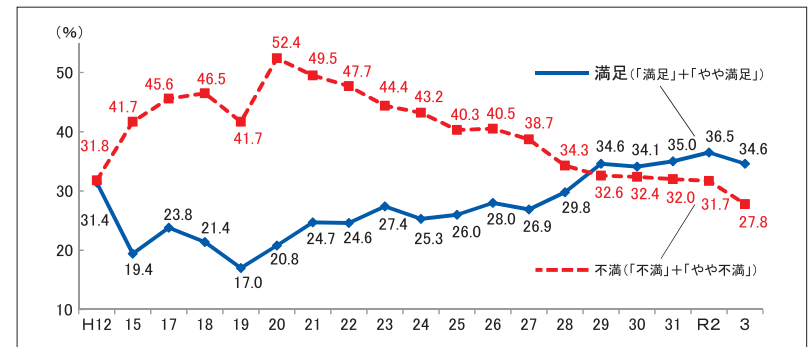
3 調査結果の概要

(1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

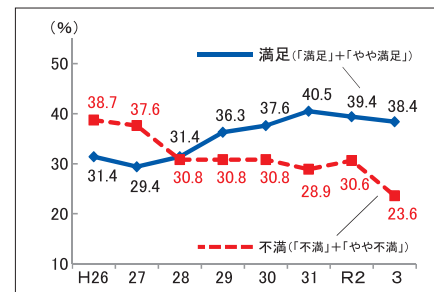
昨年に引続き満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が34.6%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は27.8%となっている。
- また、令和2年調査と比較すると、満足の割合は36.5%から1.9ポイント減少し、不満の割合は31.7%から3.9ポイント減少している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、県央及び県南では減少し、沿岸及び県北では増加している。不満の割合は、全ての広域振興圏で減少している。

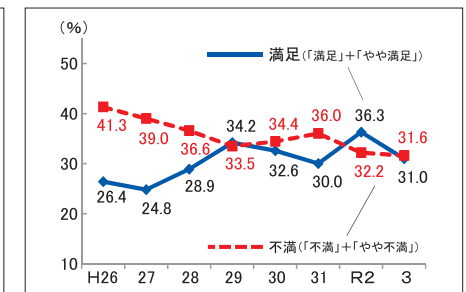
(県計)



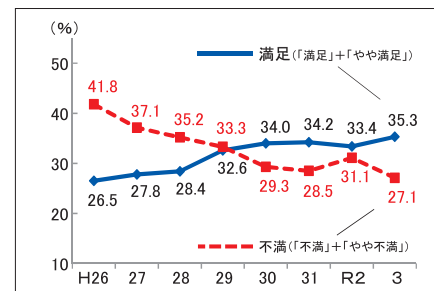
(県央広域振興圏)



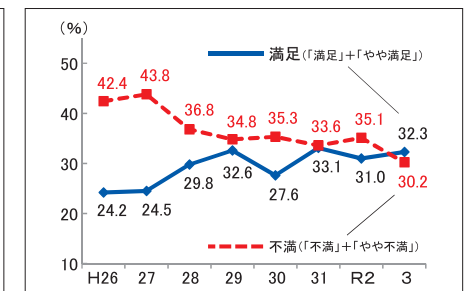
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



令和3年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

(2) あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「感染症に対する備えが整っている社会」、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	5	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
2	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
3	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
4	3	①	3	適切な医療体制
5	4	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

※1 項目は設問文を要約して記載。

重要度が低い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
55	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	51	①	1	身体の健康に関する相談・指導

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	3	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
4	4	①	3	適切な医療体制
5	5	⑤	29	住民の協力による地域の防災体制づくり

満足度が低い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	⑥	35	安定した就職環境
54	52	⑥	38	県内経済の活性化
53	54	④	24	公共交通機関の維持・確保

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「感染症に対する備えが整っている社会」、「農林水産業の担い手確保」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「身体の健康に関する相談・指導」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	14	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
3	2	⑥	42	農林水産業の担い手確保
4	5	③	17	いじめや不登校への適切な対応
5	3	⑥	36	商店街のにぎわい

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R2年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導
54	53	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
53	55	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍

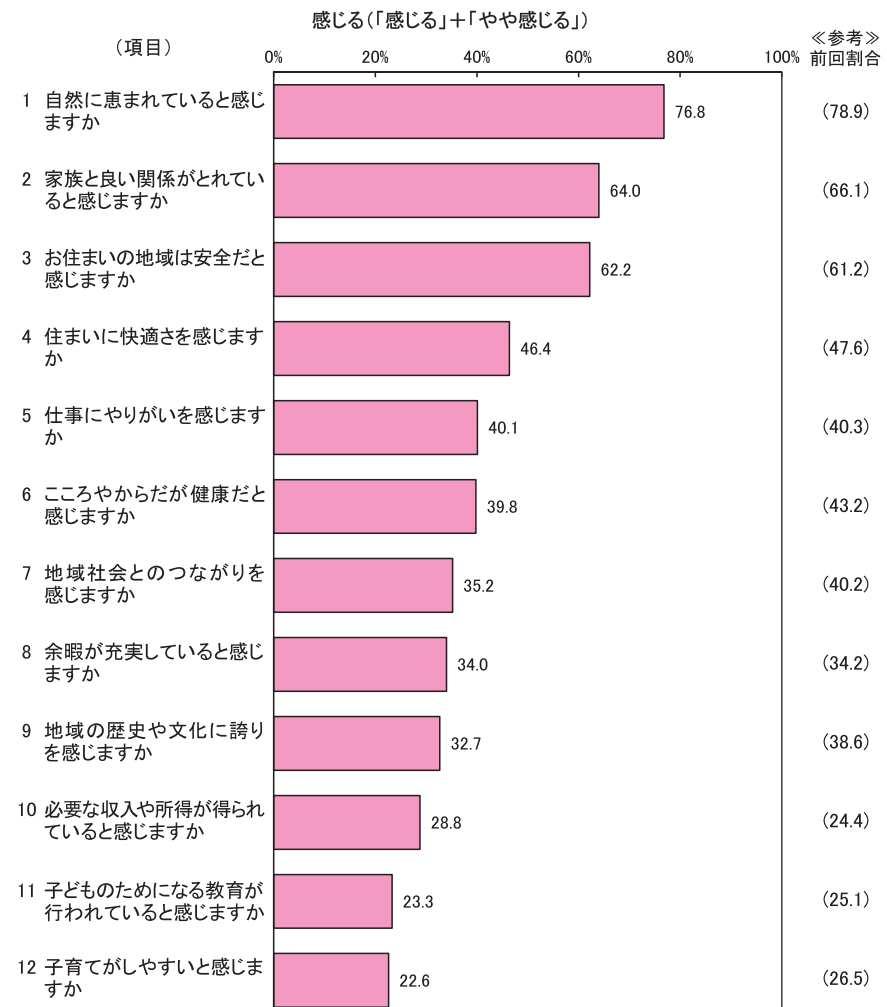
10の政策分野

- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

(3) 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

(3) - 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

- 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の76.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の64.0%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の62.2%となっている。



令和3年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

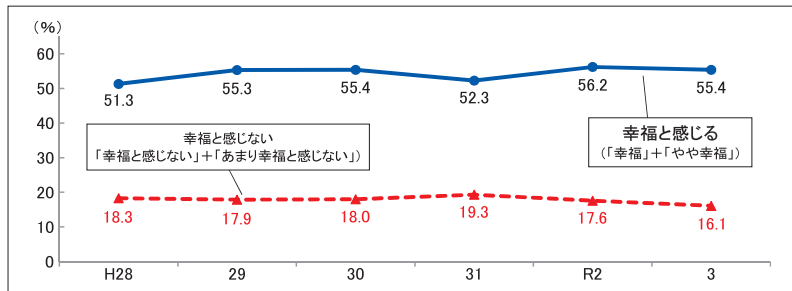
(3)ー2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が約55%（55.4%）、全ての広域振興圏で50%以上

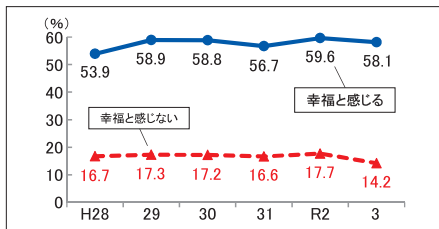
○県計では、幸福と感じる割合は55.4%となっており、前回と比較すると0.8ポイント減少している。幸福と感じない割合は16.1%となっており、前回と比較すると1.5ポイント減少している。

○広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央及び県南で減少し、沿岸及び県北では増加している。幸福と感じない割合は、県央及び沿岸で減少し、県南及び県北で増加している。

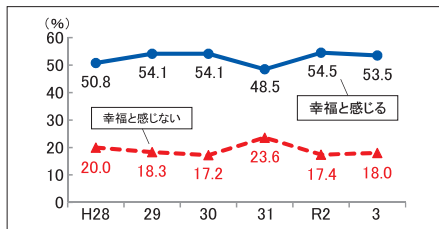
(県計)



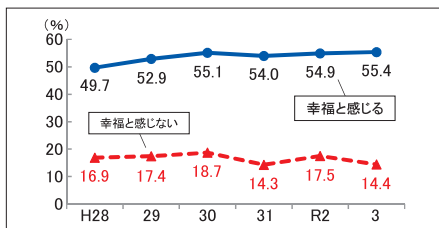
(県央広域振興圏)



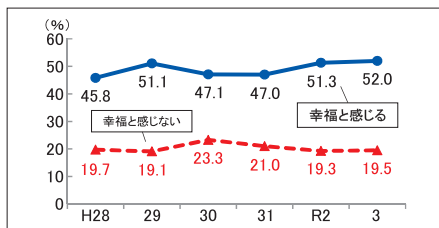
(県南広域振興圏)



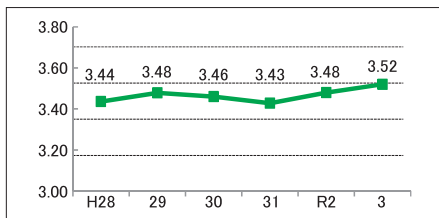
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】 平均値(県計)の推移



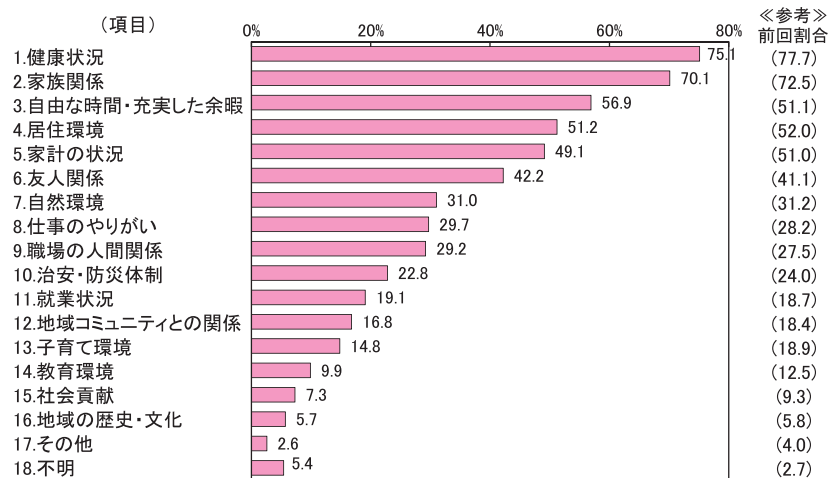
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.52点となっている。

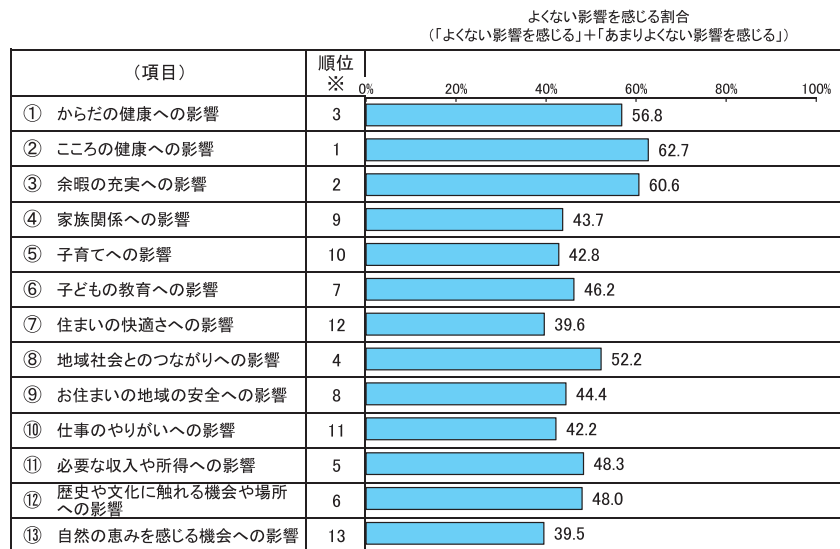
(3)ー3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の75.1%、「家族関係」の70.1%となっている。



(4) あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」+「あまりよくない影響を感じる」）割合が高いのは、「こころの健康への影響」の62.7%、「余暇の充実への影響」の60.6%、「からだの健康への影響」の56.8%となっている。



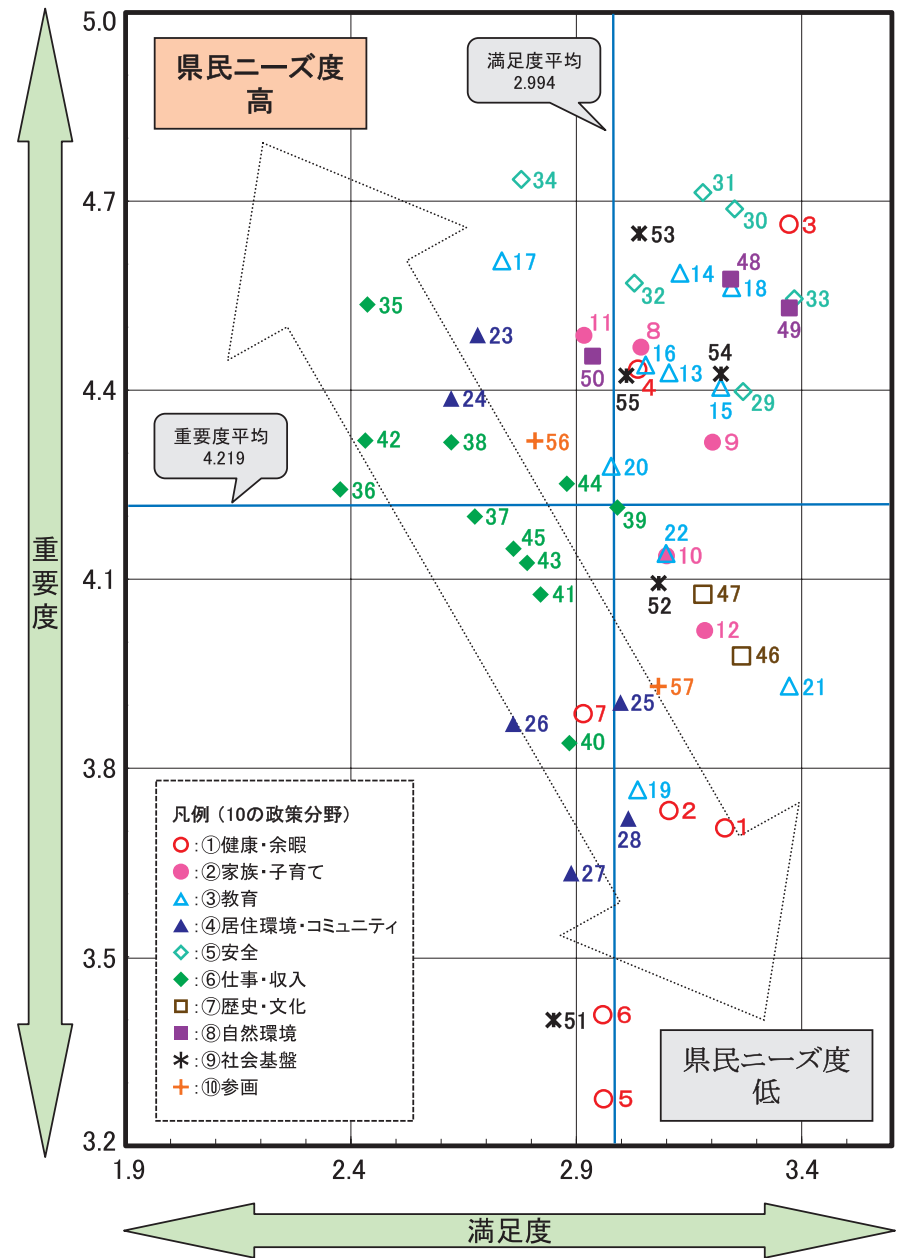
※順位は、よくない影響を感じる割合の高い順である。

令和3年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

【参考1】 (2)の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇	1	身体の健康に関する相談・指導	3.707	53	3.228	10	0.479	55
	2	心の健康に関する相談・支援	3.733	51	3.108	19	0.626	52
	3	適切な医療体制	4.663	4	3.372	4	1.292	29
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.433	19	3.037	28	1.397	20
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.276	57	2.963	35	0.313	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.407	55	2.959	36	0.448	56
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.888	47	2.917	39	0.971	42
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備	4.466	16	3.045	25	1.420	18
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.318	29	3.201	13	1.117	37
③教育	10	地域全体での青少年の健全育成	4.137	37	3.099	21	1.038	40
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.486	15	2.918	38	1.567	10
	12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	4.020	42	3.186	14	0.834	47
	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.429	20	3.108	18	1.321	26
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.586	7	3.131	17	1.455	16
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.405	23	3.222	12	1.183	33
	16	全ての子どもが学べる環境	4.442	18	3.053	24	1.389	21
④居住環境・コミュニティ	17	いじめや不登校への適切な対処	4.605	6	2.737	50	1.868	4
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.565	10	3.249	8	1.316	27
	19	特色ある私学教育の充実	3.766	50	3.037	27	0.729	49
	20	次世代を担う人材育成	4.279	30	2.978	34	1.301	28
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	3.930	44	3.374	3	0.556	53
	22	大学の地域社会貢献	4.142	36	3.102	20	1.040	39
⑤安全	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.488	14	2.681	51	1.807	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.388	25	2.624	53	1.765	7
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.908	46	2.997	32	0.911	44
	26	移住・定住を増やすための取組	3.870	48	2.759	49	1.112	38
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.634	54	2.890	40	0.744	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.721	52	3.015	30	0.706	51
	29	地域の協力による防災体制づくり	4.398	24	3.272	5	1.126	36
⑥仕事・収入	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.686	3	3.252	7	1.434	17
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.713	2	3.180	15	1.533	12
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.568	9	3.030	29	1.538	11
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.542	11	3.386	1	1.156	35
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.735	1	2.778	47	1.957	2
	35	安定した就職環境	4.537	12	2.438	55	2.099	1
	36	商店街のにぎわい	4.241	32	2.378	57	1.862	5
⑦歴史・文化	37	中小企業の活発な事業展開	4.200	34	2.676	52	1.524	13
	38	県内経済の活性化	4.319	27	2.621	54	1.697	8
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.214	33	2.992	33	1.222	31
	40	海外での県産品の販路拡大	3.839	49	2.885	41	0.953	43
	41	魅力ある観光地づくり	4.076	41	2.820	44	1.256	30
	42	農林水産業の担い手確保	4.320	26	2.434	56	1.886	3
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.128	38	2.793	46	1.335	24
⑧自然環境	44	農林水産物の販路拡大	4.252	31	2.880	42	1.372	23
	45	活力ある農山漁村の形成	4.149	35	2.763	48	1.386	22
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.980	43	3.268	6	0.711	50
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.076	40	3.178	16	0.898	45
	48	自然環境を大切に生活	4.576	8	3.241	9	1.335	25
⑨社会基盤	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.531	13	3.375	2	1.156	34
	50	温暖化防止の取組	4.456	17	2.939	37	1.517	14
	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.399	56	2.852	43	0.547	54
	52	情報通信技術の活用	4.092	39	3.081	23	1.011	41
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.650	5	3.040	26	1.610	9
⑩参画	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.429	21	3.222	11	1.206	32
	55	社会資本の維持管理	4.423	22	3.011	31	1.412	19
	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.318	28	2.810	45	1.509	15
平均		4.219		2.994		1.225		

【参考2】 (2)の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ——— は各項目の平均値（重要度：4.219、満足度：2.994）

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

注）重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

ニーズ度（平均）：重要度（平均）－満足度（平均）
（重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）